

福田康夫前内閣総理大臣ご挨拶

- 修正もあり、附帯決議もたくさんついたようだが、趣旨は曲がらなかったということで、無事法案が成立して良かった。関係者の皆さまには敬意を表したい。
- 先ほどのご挨拶の中でもありましたが、涙を流された方もいるということで相当なものだったのだと思う。期待されている消費者庁がこれから大きく育つように皆さまのご指導をお願いしたい。
- 最初はいい顔をされなかったが、消費者行政推進会議で専門的な議論をしていただき、理解していただけたのではないか。役所にしてみてもいやな仕事だったと思う。消費者庁を作ることの善し悪し、責任の大きさを感じた。
- 最初打ち出して途中でだめになるということもよくあることだが、仕上げをしていただいた麻生総理にとっては大きな功績であり、高く評価されるもの。
- 本日（6月4日）は、「200年住宅」の制度がスタートする日でもある。先般の経済対策で整備して頂いたものであるが、新しい時代の要請であり、これも麻生総理の大きな功績。こうしたものを積み重ねることで国民の信頼を得ることができる。
- 皆さまには、関心を持っていただき、国民に広くかつ正確に伝えていただけるよう、ご指導いただければと思う。
- 本日お集まりの野党の皆さまの協力なくしては、法律の成立には至らなかったものであり、併せて感謝申し上げたい。